

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	企画調整室 事業担当課長	連携担当課 (企画調整室)計画担当 (港営部)港営課、管財課 (建設部)工事課、港湾工事事務所
基本施策名	01国際・国内海上輸送機能の強化				
個別施策名	02既存コンテナ機能を再編・強化する		連絡先	052-654-7921	
事務事業名	10鍋田ふ頭コンテナターミナル整備事業※ 【本掲】(【再掲】コード5-07-21-10) ※「備考」参照				

1 PLAN(目的・概要)

目的	鍋田ふ頭コンテナターミナル第3バース(岸壁、航路泊地、ターミナル用地)を整備し、コンテナ機能の強化を図ります。	事業期間	平成21～23年度(岸壁) 平成21～24年度(航路泊地)
概要	整備場所:愛知県弥富市富浜 内容・規模:整備主体である国土交通省との予算及び工程管理に関する協議、及びターミナルの機能拡充を図るための用地整備(第3バース 延長250m、水深-12m、ターミナル用地1ha) 総事業費:約165億円 事業手法:【直轄事業】改修(特重)事業(岸壁、航路泊地) 【起債事業】港湾機能施設整備事業(ターミナル用地)	根拠法令・要綱等	社会資本整備重点計画法 港湾整備促進法 名古屋港湾計画
事業着手時点の評価 (その後見直した場合はその内容と理由を含む)	アジア・中国物流の増加に対応するとともに、大規模地震時に物流機能を確保することができる。費用対効果については、鍋田ふ頭コンテナターミナル整備事業全体にて算出しており、費用対効果(B/C)は5.5です。		
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	21年度は、地盤改良・土留工等の岸壁築造工、航路泊地浚渫、用地整備を行いました。 【22年度は、棧橋上部工・土留工等の岸壁築造工、用地整備を行う予定です。】							
	年度	19	20	21	22	最終目標	24	補足説明
事業費	千円			6,051,808	7,314,000			※起債事業分の人件費は事業費aに含まれています。
うち本組合事業費a	千円			2,908,604	4,494,000			
人員 正規職員	人			0.30	0.30			
嘱託職員	人							
人件費相当額	千円			2,575	2,633			
事業費a・人件費の合計	千円			6,054,383	7,316,633			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← → 予算ベース

進捗状況を測る活動指標	年度	19	20	21	22	最終目標	24	備考(指標の算定方法など)
事業進捗率	単位 目標			36.0	42.9	(累計)100		事業進捗率は、総事業費を100とした事業費の割合です。
	% 実績			35.5				
	達成率(%)			98.7				
事業進捗率(%)				35.5				
備考 ・「事業着手時点の評価」に対する現状での検証 ・課題と対応策 等	※事務事業の目的(対象・意図)が類似しているため、次の事務事業をこの事務事業に整理統合しました。 1-01-02-05鍋田ふ頭ふ頭用地整備事業 1-01-02-07鍋田ふ頭コンテナターミナル第3バース(岸壁)整備事業 1-01-02-09鍋田ふ頭コンテナターミナル第3バース(泊地)整備事業							

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」・「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大			ニーズの増えている中で計画どおり進んでいるため。
		維持		○	
	縮小				
		縮小	維持	拡大	
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等	引き続き、計画どおり整備を進めていきます。				